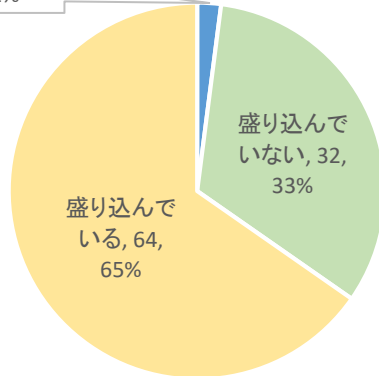


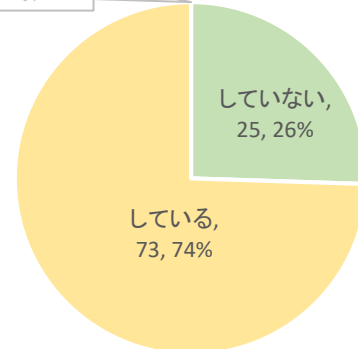
問1.現在ケアプラン作成時に食事や栄養に関する項目を盛り込んでいますか

無回答, 2,
2%

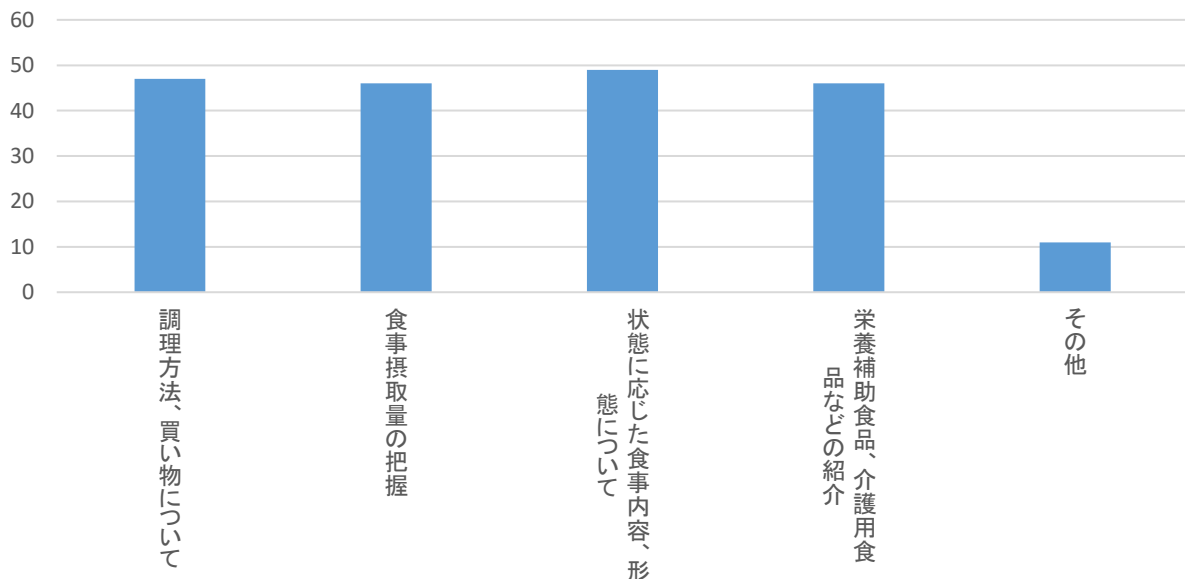


問2.訪問介護支援においてヘルパーやご家族の方に食事や栄養についてのアドバイスをしていますか

無回答, 0,
0%



問2-1.している—どんな場合ですか



その他

- ・肺炎時の身体的特徴指導。お弁当のみの方へヘルパーの食事提案。水分補給声掛け及びゼリーや水等の形態。食事時のテーブルや環境面(TVを消す)の設定。
- ・減塩など治療食について。
- ・塩分控えめについてアドバイス。
- ・調理内容、副食の内容に偏りが見られた時、副食の品目が少ない。摂取量が少なくカロリーが足りないと思われる時に介護食の紹介。
- ・糖尿病の食事の摂り方。メニューが偏らないように、季節の食材や調理法の提案。
- ・カップラーメンや簡単な料理しか食べていない人に(特に男性)肉や魚、野菜料理の栄養が摂取できるように声かけしている。
- ・薄味での料理提供、依頼。禁止食材の情報共有。
- ・栄養指導に同席してもらう等。
- ・体重の増減の確認。
- ・体重変化の観察。

問3.在宅療養中の方が、栄養に関する支援が必要な場合、誰がその役割を担い、介入すべきと考えますか(優先順位をつけてください)

職種	1番	2番	3番	4番	5番
医師	46	8	19	8	2
管理栄養士	23	38	14	11	1
看護師・保健師	14	35	28	5	2
介護支援専門員	3	3	20	49	4
その他	6	1	3	1	13

その他

- ・家族が行える時は家族対応。
- ・ヘルパー、通所サービス職員、ショート職員。
- ・全ての職種で介入時間問題を提起できるようになると利用者に望ましいと考えています。
- ・デイサービス、ヘルパー等。
- ・ヘルパー、デイサービス、デイケア、家族。
- ・訪問介護員、家族。
- ・薬剤師、ヘルパー。
- ・訪問介護。(3名)
- ・家族。(4名)
- ・番号はケースにより異なるため難しいです。
- ・調理師さんとか。
- ・①家族、食事の提供者。②通所訪問系サービス。
- ・①家族。②通所施設系サービスのスタッフ、訪問介護。
- ・主介護者、家族。
- ・訪問介護。通サービス(DS・DC)。ショートステイ。
- ・通所サービス。短期入所。訪問介護。
- ・ヘルパー。
- ・主に介護に携わっている人。
- ・家族が一番関わるべきだと思う。
- ・ヘルパー。介護職員。家族。
- ・歯科医師、薬剤師、ST。

問4.現在、在宅栄養ケアを担う管理栄養士が不足しています。在宅栄養ケアが必要な場合、どのような対応、対策をとられていますか。具体的にお書きください。

- ・併設している事業所の看護師に相談しながら、その都度利用者及びご家族へ話をするようにしている。
- ・主治医に相談し指示を受けた上で独居の方は宅配弁当で対応を行っています。
- ・受診時に医師に相談。
- ・栄養ケアが必要な利用者様は、全身状態を注意観察が必要かと思います。病院からの訪問看護を導入し、看護師に相談、病院の栄養士に相談する。
- ・該当する事例がない。
- ・栄養面に問題のある方の大半が体調面に変化を呈している。そのため、病状管理を含め栄養指導を行ってくれる訪問看護師へ介入を依頼している。状況に応じた対応を主治医と共にサポートしてくれ、場合によっては自宅での点滴加療も可能にしてくれる訪問看護師の活動は、栄養士よりも有用性は高い。また、利用者の多くは年金暮らしであり、介護支援費の支出に関してもシビアな方が多いため、幅広い視点でトータル的にサポートしてくれる訪問看護師の方が利用者にとってもメリットが大きいと考える。
- ・何故不足しているかはわからないが、地域包括支援センターの中のメンバーに入ると相談しやすいのではないかと思う。今は民間のお弁当にも管理栄養士が入っているの（以前居宅の連絡会に来てもらい試食なども行ったりしたことあるため）もっと管理栄養士の方が地域に出向く（公民館などにも）機会があればいいと思う。ケアプランのみではなく地域住民にも知る機会があればと思う。管理栄養士を地域社会資源としてもいいのではないか。
- ・町の管理栄養士に栄養指導で自宅に訪問を依頼したことがあります。居宅療養管理指導等に位置付けるのもいいが、町のサービスを活用したり、民間の配食サービス事業所の所にいる管理栄養士など社会資源を活用するなどしていったらいいのでは…と思います。
- ・医師に確認し（受診同行等）、訪問看護との連携に対応しています。
- ・介護サービスを利用している方は各事業所で体重、水分、食事、摂取量の把握、確認してもらっている（排泄もチェック）。食事で栄養が足りていないような方には、栄養補助食品の説明等実施。食事形態や味付け、盛り付けを家族と相談をしている。利用者様の持病によっては、主治医や専門職へ相談している。
- ・受診に同席し、医師よりアドバイスを受けたり、病院の管理栄養士へアドバイスを受けるようにしています。
- ・病院受診に同行し主治医に相談したり、訪問看護を導入して対応してもらっています。
- ・入院していた病院の栄養士と話し合い、指導を受けたことがある。
- ・主治医に相談しています。
- ・まずは病院の医師や看護師にたずね、それを家族や本人支援する。ヘルパーさんやデイサービス職員などに伝えている。
- ・治療食対応の配食サービスなど。
- ・医師に確認し指示を受けたり訪問看護に入っていただく事で生活の把握、食事についてのアドバイスをいただくようにしている。そのアドバイスは各サービス事業所で共有しサービス提供をしていく。
- ・主治医の意見を頂き補助食品が必要な場合は購入。食事量が少なく低栄養の可能性が高くなる等では、調理方法の工夫を行う（1回の食事での栄養バランスの配分）。

問4.現在、在宅栄養ケアを担う管理栄養士が不足しています。在宅栄養ケアが必要な場合、どのような対応、対策をとられていますか。具体的にお書きください。

- ・かかりつけ(担当Ns)があれば指示を受ける。主治医に面談する時に相談する。
- ・管理栄養士さんに聞きたいことを確認してから報告する。管理栄養士さんにつなげて管理栄養士さんに直接答えて頂く。
- ・治療上調理食材に注意が必要ないか主治医の指示を仰ぐ。本人が調理困難な場合は家族に情報を伝え、家族不在時は介護職員に伝える。毎日改善が必要な時は配食サービスや民間の宅配弁当を紹介する(医療食)。医療的注意が必要でないが、調理がワンパターンであったり栄養の偏りがある時は、栄養バランスが取れる様に総菜の宅配サービスを紹介し、品目を増やす。
- ・併設が園(軽費老人ホーム)があり、その看護師や栄養士に相談する。
- ・看護師やヘルパー、本人の調理を行う家族と連携し、栄養に関する知っている情報を交換し合う。
- ・受診時に医師に相談してもらい、そこから栄養士につなげてもらう。
- ・形態や水分制限を管理できているのか、本人家族にモニタリング時に確認している。
- ・入院されていた人であれば、退院時の栄養指導の内容をプランに反映。事業との情報共有を図っている。
- ・看護師、医師、管理栄養士等の助言を受け、家族やヘルパー事業所等と話し合っ決めていきます。
- ・制限が必要な場合は、Dr.Nsなどに確認する他、関係機関と情報を共有する。入院中であれば、在宅に戻った時に栄養面をサポートする家族などに対して指導してもらう。配食サービスを利用してもらう。
- ・退院前等カンファでの情報共有と入院中家族に栄養指導、ミキサー食に作り方なども。
- ・地域の配食サービスや宅配弁当。介護食等の紹介。
- ・配食弁当の紹介。栄養補助食品の紹介。医師への相談をすすめる。
- ・配食弁当の提案。
- ・配食弁当の提案。訪問介護の調理支援。栄養補助飲料の補給。
- ・利用者さんに栄養の訪問などサービスがある事を説明している。
- ・糖尿病コントロールとダイエット目的にて1年に2回ほど入院する。退院する時に、主治医と管理栄養士から指示がある。在宅では月曜日から土曜日までサービスが入っているため、食事摂取量、水分補給、体重等を毎日確認している。ヘルパーは塩分控えめの調整をお願いしている。サービス事業所はヘルパー、訪問介護、デイサービスにて連携を取っています。
- ・各サービス事業所、医療機関に相談して対応。
- ・退院時等に栄養士の指導を受ける。行政の保健師の介入を依頼する。
- ・病院の栄養指導をご家族と一緒に受けていただき、情報を在宅支援者にも提供していただく。受診時に同行し、食事の注意点等を医師より聴取し、家族や介護サービス支援者へ伝える。
- ・栄養指導を受けて頂く。資料の提供。疾患に対する講座等のご案内。
- ・糖尿病及び腎臓病の方の場合、CMとしては訪問等モニタリング時に血液検査データや食生活の内容を家族や本人に聞いて、悪化しているならば主治医の方へケアプラン等報告する時に相談や報告している。
- ・パンフレットを開いて調理の仕方を説明したり、栄養補助食品を紹介したりしている。(褥瘡のある方やPEGの方などは担当していないので、あまり必要性がないことが多い)心不全の再発を予防する必要がある方は訪問看護師に依頼している。

問4.現在、在宅栄養ケアを担う管理栄養士が不足しています。在宅栄養ケアが必要な場合、どのような対応、対策をとられていますか。具体的にお書きください。

- ・主治医に相談しアドバイスを頂きご家族と話し合いながら検討しているが、食事制限などの自己管理が難しい状況です。
- ・現在、退院時にHPの栄養士より指導を受け、家族が対応している。家族が対応できない部分は配食等(療養食)の紹介等をしている。
- ・訪問看護。Stを利用。居宅療養管理指導(医師)。退院時の指導はあるが、その後が続かない状況。私共のアセスメント不足もあるので、現在食事のアセスメント見直しを行っている。
- ・宅配サービス。訪問介護による調理支援。
- ・通所サービス利用時に、通所の職員が簡単なアドバイスをする。病院受診時にDrが食事の重要性について話をする。CMが訪問時に配食サービス等を提案する。
- ・主治医に相談する為に家族と一緒に受診同行している。
- ・栄養指導を受ける(退院時)。配食サービス。訪問介護導入時の栄養指導。主治医と訪問看護師の連携にて把握。
- ・入退院時の栄養指導。
- ・食欲の低下等あれば医師に相談している。
- ・病院から出された指示を家族やヘルパーに伝えている。
- ・栄養管理までは難しいので、本人が病院からもらった表をみながら献立や調理方法を一緒に考える。
- ・医師(主治医)に本人の状態の報告を行い助言をいただく。
- ・本人や家族より主治医からの受診時の言葉や内容を聞き取り、介護保険サービスの関係者間で共有する。
- ・退院後の場合が多く、病院の栄養士からの指導を受けた。
- ・主治医の病院に栄養士が在籍していれば、そこへ協力を願う。いない場合は特養などの栄養士の協力を得る。それもない時は、日々の学びの中からの提案を行っている。そのために研修にも自発的に参加するようにしている。
- ・かかりつけ病院に栄養士がいればその栄養士による指導を依頼。
- ・特になし。
- ・退院時の病院の栄養指導に同席したことはある。配食サービスの利用だけでなく、ヘルパーによる調理、買い物、家族支援などで一週間を通して食の確保を考えている。
- ・ケアマネとして本人家族、専門職との連携を密に行い、情報収集をする。
- ・特に対応していません。
- ・訪問看護による指導。配食弁当。家族への声かけ。地域のサロンへの声かけ。
- ・ヘルパーでの調理支援などで必要な栄養摂取を対応したり、食事がおいしい通所サービスなどに繋げて、食事摂取ができる環境を作るようにしています。
- ・配食弁当の活用。通所系サービス利用での食事提案。
- ・自宅だけでは家族の負担が多いので(食形態のこと、介助)分担する意味でデイ他配食サービスの話をしている。
- ・役場に在中の管理栄養士に連絡。
- ・管理栄養士と訪問し、指導してもらっている。

問4.現在、在宅栄養ケアを担う管理栄養士が不足しています。在宅栄養ケアが必要な場合、どのような対応、対策をとられていますか。具体的にお書きください。

- ・体重の減少や増加がある場合は主治医へ相談へ行きます。町役場の栄養士へ相談に行っています。自宅訪問していただき本人家族への栄養指導、調理レシピの提案していただいています。
- ・主治医に相談し病院の管理栄養士から在宅にかかわる訪問、通所の方へ介護支援専門員を通じて聞きとった事を連携もしくは一緒に必要なケアの確認を行う。病院の栄養士さんから本人、ヘルパー(調理)が在宅に戻る時は、一緒に指導を受けたこともあります。
- ・担当医の指示を得て家族に伝える。病院で利用者本人、家族に対する指導説明が実施された場合、同席参加し、訪問介護等支援事業者への情報提要を行う。主治医又は病院栄養士、看護師から訪問看護等支援事業者に直接指導説明を行う場を設定する。栄養補助食や配食などの情報を利用者、家族に提供する。訪問看護による健康管理、栄養管理。通所介護等の利用による摂食量の確認等。
- ・実際に在宅で管理栄養士の方をサービス、ケアプランに導入したことがありません。代わりに訪問看護での栄養指導や訪問介護との連携で栄養面の改善をしています。NSTの体制は入院中であればかなり充実したものとなっているかと思います。在宅に置いてはその重要性を考えケアプランに位置付けして行こうと思います。
- ・配食サービス、栄養補助食品、介護用食品の提案。医師に確認し、訪問看護等の利用検討。
- ・配食サービス。
- ・喫緊の状況ではないので対応策はとっていません。
- ・受診に付き添い、医師より病状においての注意事項等一緒に聞いている。糖尿病等での退院時カンファの際に、具体的にどんな食材を使用しているかが分かる様に入院中の献立表をもらっている。
- ・食事の確保の為、配食サービスの提供導入。食事摂取量減少傾向時、栄養補助食品等の提案導入。
- ・訪看が訪問時にアドバイスや指導を行っている。又、薬剤師の方からも助言をいただいている。Drとの連携も訪Nsや薬剤師の方を通して行っている。
- ・施設の管理栄養士に必要な事を教えてもらっています。